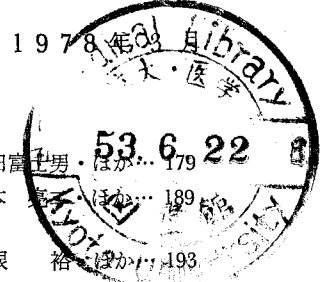


泌尿器科紀要

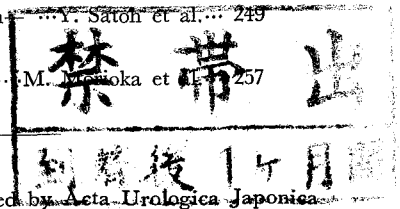
第24巻 第3号



Ex Vivo Surgery による腎血管性高血圧の治療	増田 廣一男・ほか	179
発作性夜間血色素尿症に合併した急性腎不全の1例	安本 裕	189
上部尿路閉塞性疾患の Urodynamic Studies (Pressure/Flow Test の臨床的意義)	長根 裕	193
女子尿閉18症例の臨床的検討	白井 千博・ほか	201
多発性・再発性膀胱腫瘍に対する抗腫瘍剤膀胱内注入療法	高山 秀則・ほか	209
停留睪丸に発生した悪性腫瘍の7例	中森 繁・ほか	219
傍睪丸横紋筋肉腫の1例	堀江 正宣・ほか	225
生存率算出法の現状とその問題点	小幡 浩司	235
抗癌剤の生体内動態とその臨床応用	藤田 浩	245
脊髄損傷患者における緑膿菌尿路感染症に関する臨床的細菌学的検査成績およびその対策	佐藤 義基・ほか	249
前立腺肥大症に対する Gestonorone Caproate (SH 582) の臨床効果	森岡 政明・ほか	257

CONTENTS

Ex Vivo Surgery of The Kidney for Renovascular Hypertension	F. Masuda et al.	179
Acute Renal Failure in Paroxysmal Nocturnal Hemoglobinuria	R. Yasumoto et al.	189
Urodynamic Study in The Upper Urinary Tract Obstruction. Clinical Value of Pressure/Flow Test	Y. Nagane et al.	193
A Clinical Study of 18 Cases of Urinary Retention in Females	K. Shirai et al.	201
Treatment of Multiple and Recurrent Bladder Tumors by Intravesical Instillation of Antitumor Agents	H. Takayama et al.	209
Malignancy of Maldescending Testicles: Report of Seven Cases	S. Nakamori et al.	219
Paratesticular Rhabdomyosarcoma: Report of A Case	M. Horie et al.	225
How to Compute Survival Rates for Cancer Patients—Present Condition and Problems	K. Obata	235
The In Vivo Movement of The Anti-cancer Agents and Clinical Significance	H. Fujita	245
Clinical and Bacteriological Study on Urinary Tract Infection with <i>Pseudomonas aeruginosa</i> in Patients with Spinal Cord Injury—The Control and Prevention of Ward-acquired <i>Pseudomonas</i> Infection	Y. Satoh et al.	249
Clinical Effects of Gestonorone Caproate on Benign Prostatic Hypertrophy	M. Morioka et al.	257



〒606 京都市左京区聖護院川原町
京都大学医学部泌尿器科学教室
泌尿器科紀要編集部

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

Published by Acta Urologica Japonica
Department of Urology
Kyoto University Hospital
Sakyo-ku, Kyoto, Japan 606

編 集 後 記

先月号の編集後記にもありましたように、T. T. 氏すなわち友吉唯夫氏が、新設の滋賀医科大学泌尿器科に教授として赴任いたしました。同氏は実に十年の長きにわたって、本誌の実際上の編集にあたりました。いろいろと難事もありましたが、本誌の今日あるのは氏に負うところが大きいと思います。心から敬意を表します。ひきつづき編集委員として御協力願うことになっております。

四月一日より京大泌尿器科助教授に着任いたしました桐山菅夫氏が、副主幹として編集を担当いたします。「泌尿紀要」をさらに充実したものにすべく、なみなみならぬ意欲をもっています。よろしく願い申し上げます。
(O. Y.)

編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 菅 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は総説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受け付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部, 書留便。

泌尿器科紀要 第24巻 第3号	1978年3月25日 印刷	1978年3月31日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤 二	定価 500円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
